

## 自由参観日のご案内

コロナ禍の中、学校行事の延期や中止が続き、保護者の皆様に、なかなか学校にお越しただく機会が少なく残念に思っています。

この度、すでにお知らせしておりますように、11月5日（金）に自由参観日を開催します。お忙しいと思いますが、1校時から4校時まで実施しておりますので、ぜひ、ご都合をつけて、ご参観ください。

【11月5日（金）のスケジュール】（授業科目は、各学年で違います）

8：40～ 9：25 1校時

9：30～10：15 2校時

10：35～11：20 3校時

11：25～12：10 4校時

なお、感染予防のため、手指の消毒、マスクの着用、授業中の保護者同士の会話をご遠慮いただくことなどの取組にご協力ください。

## 受賞おめでとうございます！

10月20日（水）の中国新聞朝刊に掲載されましたように、中国新聞「みんなの新聞コンクール」で、2名が最優秀賞を受賞しました。大変おめでとうございます。児童本人の頑張りや保護者のお支えの賜物だと思っておりますが、海田西小学校では、毎週水曜日に、「NIEタイム」で、新聞を読み、感想をまとめる取組を行っています。こういった活動も役に立っているのではないかと考えています。学校での授業だけでなく、毎日の宿題をていねいにする、日記を書き続けることなども大切だと思っております。

こういった作品応募をすることは、先生方にとっても指導や準備など大変なことも多いですが、様々な方面から褒めていただくことによって、児童が自信を持って取り組むことができるようになります。絵画や書写、作文なども含め、子どもたちの作品が様々な形で表彰されるよう、今後も応募していきます。

「第21回中国新聞みんなの新聞コンクール」

ジュニア新聞の部 最優秀賞 1年 中須 彩月

新聞感想文の部 最優秀賞 5年 御堂河内 咲

「第13回MOA美術館安芸郡児童作品展」

書写の部 海田町教育長賞 5年 水野 英

※ これらのコンクールでは、他の賞にも入賞がありますので、詳細は「学校だより」などでお知らせします。

## 「ニュース5・7・5」作品

校長室前に置いてある「ニュース5・7・5」の応募ポストへの作品応募が、今回は38句ありました。応募していただいた児童のみなさん、ありがとうございます。子どもたちの作品を読んでいると、心が洗われるようです。今回は、次の作品を選びました。季節は、あっという間に秋を迎え、そろそろ秋の深まりや、冬支度の作品になってきましたね。季節を感じます。

あいさつを 元気にするよ 気持ちいい	2年	<small>みずの</small> 水野	<small>あん</small> 杏
秋にはね くりとおいもが おいしいよ	3年	<small>たむら</small> 田村	<small>ゆい</small> 優依
うれしいな 朝のおにぎり ツナマヨだ	4年	<small>はやし</small> 林	<small>ひめの</small> 陽愛乃
朝ごはん とてもおいしい 目玉やき	4年	<small>まつもと</small> 松元	<small>せいあ</small> 星空
紅葉が 風で落ちるよ にじの雨	5年	<small>ひろかわ</small> 廣川	<small>ねね</small> 寧々
そろそろだ 落ち葉と一緒に 衣がえ	6年	<small>ふるた</small> 古田	<small>らん</small> 蘭

## 校長の真面目な子育て日記④

自分の勤める海田西小学校では、参観日を実施することにしましたが、娘の小学校では、参観日が開催されていません。先日、運動会（学年別）が行われ、久しぶりに小学校に行きましたが、実に2年間、娘の授業を見ることは、できていません。現在のコロナウイルス感染症の感染状況が長く続き、収束してほしいと願うばかりです。

さて、このところ、保護者の皆様から担任等を通じて、子供さんのことで様々なご相談を受けています。「学習状況のこと」、「友だち関係のこと」、「学校に行き渋ること」など「子育て」には、悩みはつきものだと考えます。私は、保護者の皆様からのご相談には、「教師」としてと、同じ「保護者」として考えます。「教師」としては、第三者の立場から、これまでの多くの子供たちと接してきた経験などから、担任にもアドバイスをしています。一方、「保護者」としては、「そうだよなあ」「気持ちはわかるなあ」と自分自身の娘の状況と照らして、考えます。保護者のお悩みは、痛いほどよくわかります。自身の子供が、悩んでいたりと、困っていると、ずっと気になってしまいますね。

4月からこれまで、間接的なものも含めて、保護者からのご相談をお聞きする中で、多くの場合、「お母さん」が、1人で一生懸命悩んでいるケースが多いことに気が付きます。他にじっくりと悩みを聞いてもらえる方（家族以外も含めて）が、少ないように感じます。人に聞いてもらうことで、直接解決できなくても、「話す」ことで少しは、気が休まることもあります。我が家では、金曜日の夜、娘が寝静まったあとに、今週のごとをいろいろと妻から聞いています。最近、その際に「反論」をせず、「そうだね～」と一緒に悩むことが大切なことを学びました（反論すると大変です。。）。

皆様方も、何気ない話や悩みを聞いてもらえる方がいるといいですね。子育てが終わった友人からは、「あっという間」と言われる子育てですが、真ただ中にいる者には、闇夜の中を歩くように感じることもあります。もし、相談をする方がいない場合やお困りのことがありましたら、ご遠慮なく学校までご相談ください！！